

防衛装備庁とは？

平成27年10月、防衛省の外局として設置され防衛装備品の研究開発、補給及び管理の適正かつ効率的な遂行、国際協力の推進を図ることを任務としています。

市ヶ谷に設置された内部部局のほか、防衛装備品の技術研究、試験評価等を行う5つの研究所及び3つの試験場が全国に所在しています。

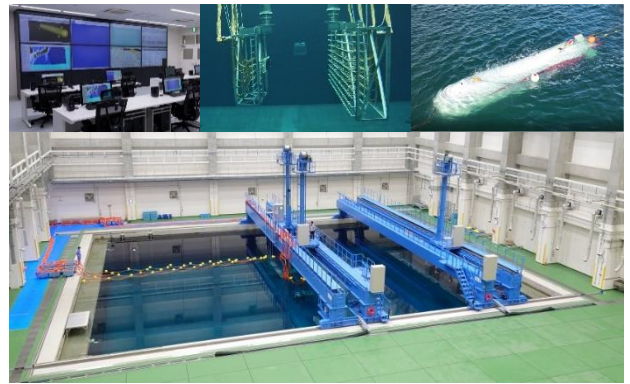
中国地方においては、山口県岩国市に艦艇装備研究所岩国海洋環境試験評価サテライトが令和3年9月1日に発足し、水中無人機などを評価するための大規模かつ最新試験施設となっています。

岩国海洋環境試験評価サテライト(IMETS)での主な仕事の内容

防衛装備庁艦艇装備研究所では水中無人機の研究開発を積極的に進めています。

IMETSはシミュレーション技術を使って水中無人機の高度な自律性・信頼性などを試験評価をすることができる研究施設です。

IMETSの研究職技官は、シミュレーション装置と大型音響水槽を使って、水中無人機をVirtual空間に設定した多種多様な海洋音響環境条件で様々なミッションのシミュレーションを行い、それらのデータを計測・解析することで、水中無人機の状態認識・判断や機能・性能などを評価したり、将来の水中無人機に向けた研究を行います。



先輩からのメッセージ

IMETSでは、ゲームチェンジャーとなり得る装備品の一つである水中無人機やその構成機器の試験評価を実施しています。特に私は試験評価装置の運用や音響特性計測などに携わっています。

IMETSは令和3年度に発足した施設であり、試験評価装置の運用方法について検討するなど、発足間もない施設ならではの業務にも携わることができ、とてもやりがいを感じています。

様々な業務に携わることができる一方、どの業務にあっても国の防衛という大目標は共通しており、利益などに縛られず真に必要な装備品研究・開発が行える点は公官庁、防衛装備庁の魅力であると思います。



【令和3年採用一般職大卒 機械】

採用後の処遇は？

【異動】

異動は2～3年を基準としては年に1回意向調査が行われ、本人の意向や適性等を考慮した人事異動を行っています。

【研修】

採用後は、事務官・研究職ともに、防衛装備庁で行う「初任研修」で公務員としての基礎を習得していただきます。その後はキャリア等に応じた各種研修を準備しております。



✓採用全般に関するお問い合わせ先

防衛装備庁長官官房人事官付採用担当
TEL: 03-3268-3111 (内線35823)
〒162-8870 東京都新宿区市谷本村町5-1
<https://www.mod.go.jp/atla/index.html>



✓岩国サテライトに関するお問い合わせ先

防衛装備庁艦艇装備研究所
岩国海洋環境試験評価サテライト
TEL: 03-3268-3111 (内線27904～27907)
〒740-0045 山口県岩国市長野1805-1
<https://www.mod.go.jp/atla/kansouken.html>

